

OSAKA

かなん

議会だより

持
尾
笹しやぶ
の
境たき

第3回定例会

平成28年度決算審議など・・・P 2

条例審議など・・・P 6

特集1▶ 多面的機能支払交付金・・・P10

特集2▶ (仮称)かなんこども園・・・P11

これが聞きたいねん 議員の質問・・・P12

シリーズ 人

伊藤 星織さん 紀子さん・・・P20

2017.12 No.137

発行/河南町議会
編集/広報特別委員会

決

算

認定

年間 34万5,775円

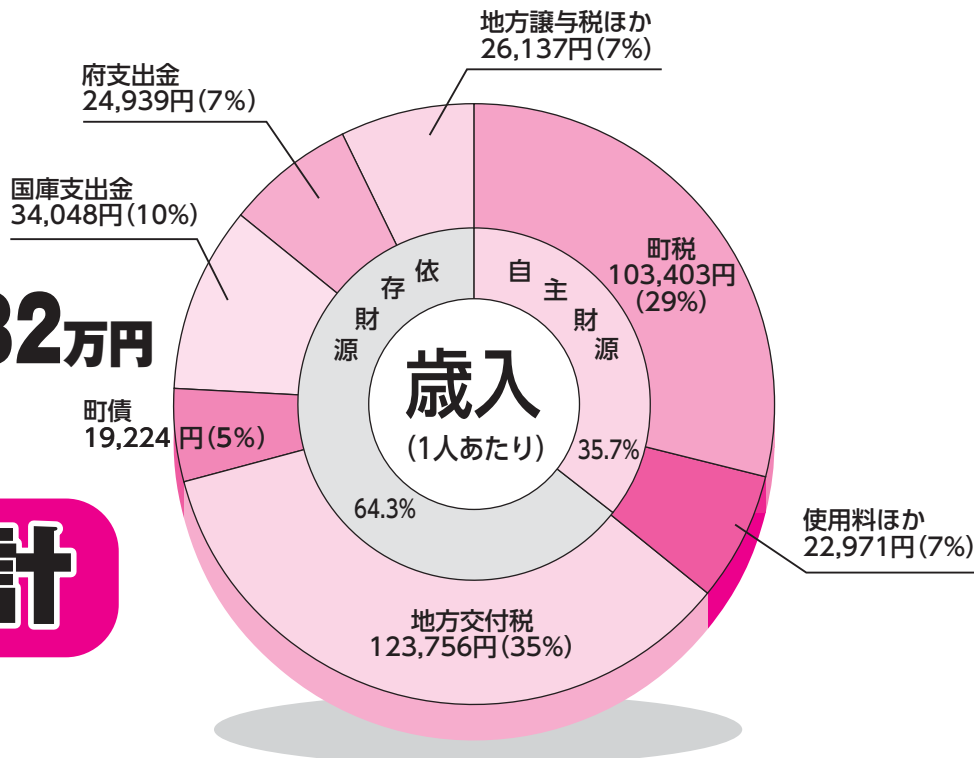
平均10万3,403円

入ったお金 55億8,904万円

平成29年第3回定例会は、9月6日から9月22日まで
の会期で開催しました。
主な案件は決算認定で、そのほか条例の一部改正や補
正予算などの審議を行いました。
一般質問では、8人の議員が町政全般について活発な
議論を行いました。

5,182万円

会計



町長の所感

- 平成28年度は、町制施行60周年を迎え、住民の皆さんとお祝いすることにより、河南町を築いてこられた先人に感謝し、未来につなげるため、式典や記念事業を開催した。第四次総合計画の施策体系に基づき、主に次のような事業を行ってきた。
- ・中央公民館及び図書室移転の実施設計を行い、工事に着手。
 - ・総合体育館改修は屋上防水・外壁改修の実施設計。
 - ・三世代同居・近居支援」で住宅取得8件、住宅改修で2件の助成。
 - ・子育て支援で第2子以降の子供に幼稚園・保育園の保育料完全無償化の実施。
 - ・不妊治療の経済的負担軽減のため、特定不妊治療費助成。
 - ・小学校の第2期統合に向けタウンミーティングを開催し、基本設計及び実施設計を行った。
 - ・障がい児通所施設に通う第2子以降の児童、通所費の完全無償化。
 - ・防犯対策として、他市町村間との境界付近に10基の防犯カメラの設置と37基の地区防犯カメラの電気代の補助。
 - ・交通便利性向上に向け、やまなみタクシー運賃200円を100円に。
 - ・下水道の整備は中・馬谷・芹生谷地区で、大宝地区では老朽管の更生及び敷設替えを実施。
 - ・国から重点「道の駅」に選定されPRパンフレットの作成、再整備に向け直売所棟実施設計、拡張部分の測量を行った。
 - ・良好な住環境整備に向け、空き家対策のため実態調査を実施した。

赤ちゃんからお年寄りまで

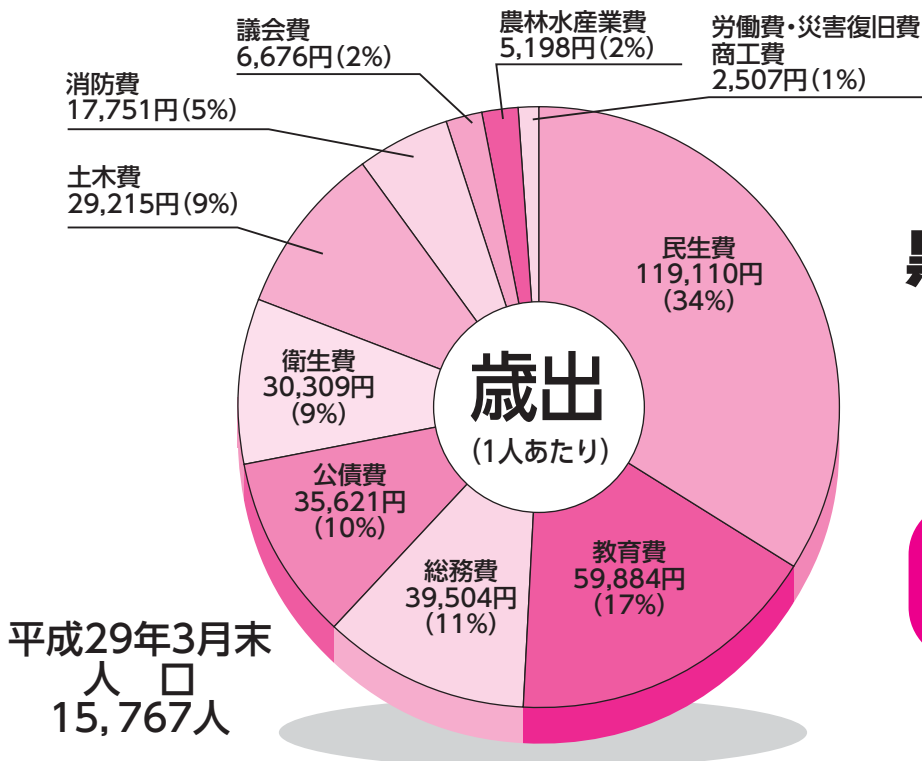
みんなのお金どう使ったの？

1人あたり

払ったお金 **町税** 1人

使ったお金 54億5,182万円

円グラフは、一般会計の決算項目を、町民1人あたりの金額に換算したものです。一般会計では、赤ちゃんからお年寄りまで、1人あたりの歳入(収入)は、35万4,478円で、歳出(支出)は34万5,775円となりました。町財政状況に基づく貯金は総額30億7,497万円、町民1人あたり約19万5千円で、借金は総額93億7,574万円、1人あたりの借金は約59万5千円となりました。



黒字額 1億

一般

町長に問う

問 この一年間、どのように全ての事業を評価したのか。

答 町制施行60周年の節目の年、職員、議会、諸団体の応援で全うできた。

問 団塊の世代が退職時期を迎え、どのような状況になっているか。

答 全体的に組織として力量が落ちるが、それらを補助するにはITなどを導入している。

問 住みやすい暮らしをやっていく上で普通財産の整備の進み具合は。

答 住民の方に不安や心配をかけないようにやっている。

問 なぜエコアクション21の取組みを続けているのか。

答 温暖化防止、エネルギーの効率化を図っていくため。

問 広域消防への委託に對しての考えは。

答 広域自治体に消防本

部を置くようにした方がよい。単独より機能は上がっている。

問 消防を委託して3年になる。改善などについての会議は。

答 正式にはないが、消防本部に都度申し入れしている。

問 土砂埋め立てへの考えは。

答 埋め立てに関する条例をつくり、有効に働いている。

問 かなん桜プロジェクトなどの契約はどのように。

答 里山倶楽部、環境マイスター、町職員、地区の方にボランティアで参加してもらっている。

問 岩橋山、葛城山の登山道の駐車場の整備に對しての考えは。

答 観光資源面で駐車場は一体のものとしてとらえている。

歳入

問 個人税の歳入減少に対する対策は。不納欠損は何件か。

答 徴収の取り組み強化を図る。欠損は103件で763万円である。

問 ふるさと納税が減少しているが、増加対策は。

答 返礼品の品数を増やす方向で検討中。検索サイトNo.1のふるさとチョイスに掲載し、PR中。

議会費・総務費

問 一般管理費の委託料の不用額1,993万円の要因は。

答 各種委託料の入札の落札減の総計、最大は電子システムである。

問 防犯カメラの設置は行き届いたのか。

答 15地区まだ未申請、特に山手に設置されてい

ない所が多い。

問 実証運行評価検証業務委託料500万円はどのような委託か。

答 運行データに基づく評価検証とアンケート調査費である。



カナちゃんバス

問 60周年記念事業の総額は幾らだったか。

答 957万円であった。

問 コンビニ収納の委託料で収納効果が上がっているのか。

答 収納額の9%がこれであり、効果があると考

問 ESCO委託金に毎年2,700万円払っているが効果は。

答 一昨年の電気料金より30%、300万円下が

っている。

民生費・衛生費

問 社会福祉協議会助成金が年々微増しているが、原因は。

答 種々の事業をされているがゆえ、社協を信用して動いている。

問 公害分析調査委託料の内容は。

答 河川は年4回、残土は年2回、ゴルフ場は1回の水質調査で農業地区のため大腸菌が多いが、その他は環境基準に合格している。

問 中央、石川保育園の運営事業費は。

答 中央は1億1,160万円、石川は1億4,993万円である。

労働費・農林水産業費・商工費

問 農業振興地域の整備計画はどの地域か。

答 主に309号の沿道で、将来の土地利用を検討。

問 有害鳥獣捕獲助成145万円の中身は。

答 富田林猟友会に50万円、河南町有害鳥獣被害対策協議会に95万円を助成。



アライグマ

問 多面的機能支払交付金とは何か、中身がわかる過去の決算書はあるのか。

答 農地、水路、農道の管理を農家に代わり維持管理する団体への補助金。2団体あり、その決算書を提出する。

問 富田林商工会負担金を払っているが、河南町



決算特別委員会の様子

の商工会の立て直しはするの。

答 農、商、工、観光を合わせた総合型を検討準備中。

土木費・消防費

問 救急患者の搬送で、住民からの苦情があると聞いている。消防本部に改善を申し入れたいが。

答 救急が遅すぎたという苦情は聞いていない。

教育費

問 学校司書数名を雇っているが、図書室の開室



読み聞かせ

時間等に変化はあったのか。

答 司書が中心となって読み聞かせなどをしていく。開室時間に変化はない。

問 給食用備品購入費が昨年は0円だった理由は。

答 学校に常備している備品が8年ほど入れ替えていない。傷んでいる部分のみ購入している。

問 備品を納品する業者の選定は。

答 見積もり合わせで選定している。

問 海外学習委託料が178万円増加している要因は。

答 27年は15人だったが、28年は22人だった。申込者が増えている。

問 29年は国内に変更したが、評価は。

答 7人が参加した。外国と変わらない環境で研修できたと報告している。

問 埋蔵物の保管費用が計上されているが、埋蔵物はどの程度のボリュームか。

答 小さいコンテナ百個分ある。

問 今後の展開は。

答 新公民館スペースに常設展示する。

問 町立プールがなくなり、学校のプール解放を求める声が大きい。今後の展開は。

答 府条例でプール解放にかかる要件が厳しくなっているので困難である。

問 管理は委託しているが、町所有のプールである。開放一回につき13万5千円は高いのでは。

答 小さな子どもが使えるように底上げするなど、様々な作業を要する。

問 積算根拠に間違いはないか。

答 もう一度積算する。

問 学校給食センターの0・157対策は。

答 食材を納品する際に食材の情報を提出してもらい検証している。



給食センター

財産に関する調書

問 財産について、使われていない備品はないか。

答 フェンシング用審判機は使われていない。

問 備品各種を使っているときは住民に貸し出しできないか。

答 貸し出ししているものもある。

問 貸し出しリストを作成すべきでは。

答 精査して検討する。

問 町所有の土地や建物で、本来の目的で利活用できないものもあるのでは。

答 目的のない普通財産もある。

問 年に一度くらいは、売却の検討もしては。

答 財産の処分は、その都度考えて進める。

介護保険特別会計

問 要介護が21名減、要支援が42名増であるが、審査基準が厳しくなったのか。

答 審査基準は厳しくなったが、要介護が要支援になることは基本的にはない。

問 介護認定の審査日数は。

答 30日以内が標準であるが、最大2カ月半かかることもあった。審査件数を調整し、今では1カ



車いす

月半ほどで認定される。

問 2町1村で事務局を持ち、認定しているが、町単独では。

答 共同の方が費用が抑えられる。

下水道事業特別会計

問 下水道が通っているが、宅内に繋いでいない戸数は。

答 把握していない。

問 管更生が大室地区で行われているが、耐用年数は。

答 60年である。

水道事業特別会計

問 企業団に入るのか。

答 いずれは企業団に統合する方向で考えている。

問 大きな災害や異常気象が起きると大きな組織の方が有利では。

答 平成31年から検討に入る。

老人医療 ↓ 整理統合 身体／精神障がい者医療 ↓ 負担増

身体障がい者医療と老人医療を整理統合し、重度障がい者医療とする。

【対象者が変わります】

- 新規追加
 - ・精神障がい者1級
 - ・難病330疾患
- 対象外に
 - ・精神1級以外の精神通院医療対象者
 - ・重度以外の難病患者(56疾患)
 - ・結核患者

【一部負担金が変わります】

- ・1医療機関あたり500円を撤廃、入院・通院・院外調剤それぞれで500円負担。
- ・月額上限を3,000円に引き上げ。

- 問** 今議会の4つの議案は老人医療費助成制度の廃止に伴う改正であるが、老人医療制度とは。
- 答** 65歳以上の障がい者と非課税世帯を対象とした医療制度である。
- 問** 町内での影響は。
- 答** 64人が医療制度の対象外となる。
- 問** 対象外となる64人への説明は。
- 答** 3月末に個別に通知し、広報、ホームページなどで説明する。
- 問** 対象外となる64人には、議案を上程する前に説明し、当事者の声を吸収した上で議案にするというのが本来では。
- 答** 当事者の声は聞いていない。
- 問** 町単独で対象外となる人の助成ができないか。
- 答** 単独での助成は考えていない。
- 問** 対象者への負担は増えるのか。
- 答** 負担上限額が月3千円になる。
- 問** この医療制度の対象者は障がい者であるが、障がい者の生活実態に応じた負担増か。
- 答** 生活実態は把握していない。
- 問** 府庁前で、この医療制度改悪に反対する大規模な抗議を障がい者が行っていた。作業所などで得られる月数千円の賃金では、たった500円の負担増も重すぎるのでは。
- 答** 1医療機関で2回以下の受診だと負担は増えない。

反対討論

身体障がい者及び知的障がい者の医療助成（佐々木議員）

障がい者が通う作業所では得られる賃金は月数千円なので、年で数千円単位の増でも負担が重くのしかかる。また、障がい者は障がいに関わる治療や副次的な疾病にも対応が必要であり、特に医療を必要とする存在である。

老人医療助成廃止（佐々木議員）

大阪府は「負担は増すが、対象者は拡大する」と説明しているが、精神障がいでは20%が、難病では95%が切り捨てられる。河南町でも64人が切り捨てられる議案であり、切り捨てられる当事者の意見を聞かず、議論が命よりお金中心に進められている。

可決

道の駅リニューアル

約8,500万円

道の駅の直売所棟を増築するための工事で、既存建物の休憩所の解体撤去を行い、1階に直売所、2階に会議室兼調理室を備えた直売所棟を増築します。

- 問** 入札に応じた2社の入札金額が同額である理由は。
- 答** 公表している最低制限価格である。
- 問** 同額の2社から1社を選択する根拠は。
- 答** くじで決定した。
- 問** 工事期間中は駐車場が足りないのでは。
- 答** 仮駐車場を広げる。
- 問** 売り場面積が拡大するのか。
- 答** 建物面積自体は大きく変わらないが、売り場面積は広くなる。
- 問** 設計する前に当事者である組合員からの意見を聞いたのか。

駅長と協議している。



イメージ図

- 問** 落札企業の実績は。
- 答** 資本金300万円、売上高15億8,600万円、技術職職員が9人いる。
- 問** 改修内容は。
- 答** 屋根と外壁からの雨漏りを改修する。
- 問** 今回の予算では管理棟と小ホール部分のみと聞いた。来年度に残りを改修するなら、今回一気にやってしまう方が安くできたのでは。
- 答** 予算の平準化のために分けている。
- 問** 最低制限価格を公表すると、同額で何社も応募する。公表しなくていいのでは。
- 答** 最低制限価格を聞き出そうとする不当な要求を防ぐのが公表の目的である。
- 問** 競争原理が働いてい

可決

ぶくぶくドーム改修

約5,000万円



ぶくぶくドーム

ないのでは。価格設定は適正か。

答 設計書に基づいて積算している。一般競争入札を公告しているため、その中で競争原理が働いて

- ている。
- 問** 現在の入札制度では、町が損をすることもあるのでは。
- 答** 最低制限価格を公表しないことにより、談合のリスクや職員との癒着のリスクが高まる。
- 問** 追加工事が発生した場合の財源は。
- 答** 予算内で納める。

可決

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

下記意見書を提出することを全会一致で可決し関係省庁に対して提出しました。

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

我が国の地球温暖化対策については、2020年度及び2020年以降の温室効果ガス削減目標が国際的に約束されているが、その達成のためには、とりわけ森林吸収源対策の推進が不可欠となっている。

しかしながら、森林が多く所在する山村地域の市町村においては、木材価格の低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足に加え、急速な人口減少など、厳しい情勢にあるほか、市町村が、森林吸収源対策及び担い手の育成等山村対策に主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。

このような中、政府・与党は、『平成29年度税制改正大綱』において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」との方針を示したところである。

もとより、山村地域の市町村による森林吸収源対策の推進や安定した雇用の場の確保などの取組みは、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や地方創生等にもつながるものであり、そのための市町村の財源の強化は喫緊の課題である。

よって、下記の制度創設について実現を強く求めるものである。
記

平成29年度税制改正大綱において、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設」に関し、「平成30年度税制改正において結論を得る」と明記されたことから、森林・林業・山村対策の抜本的強化をはかるための「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成29年9月6日

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
財務大臣 麻生 太郎 殿
総務大臣 野田 聖子 殿
農林水産大臣 齋藤 健 殿
環境大臣 中川 雅治 殿
経済産業大臣 世耕 弘成 殿
衆議院議長 大島 理森 殿
参議院議長 伊達 忠一 殿

大阪府南河内郡河南町議会 議長 力武 清

加藤久宏議員 復職

10月6日に大阪府知事から、河南町議会の決定を取り消す裁決が出され、5月26日にさかのぼり、復職されました。

不採択

野良猫を減らす！！ 地域猫活動への理解を求める請願

飼い主のいない猫の問題を、地域住民／問題解決に取り組む団体／行政が協力しあい、適正に管理しつつ徐々に数を減らしていく取り組みの支援を請願する。

問 「ふるさと納税の活用」や「項目」について、財源をふるさと納税にした理由は。
答 広島でふるさと納税を活用したNPOによる取り組みがある。

問 野良猫をどのようにして捕まえるのか。
答 100円均一の材料で捕獲器を自作し、捕獲している。その後、動物基金から避妊去勢するためのチケットをもって、基金指定の動物病院に連れていき、最後はもといた場所に戻す。

問 イノシシやカラスを駆除する一方、猫を保護することの整合性は。
答 基本的には人の営みが一番優先されるべきである。そのために有害鳥獣は最低限駆除するのが妥当である。しかし、猫は、減らす努力もせず、増えただけ殺すという意味のない殺処分である。

反対討論

(大門議員)

行財政改革の一環で、飼い猫の避妊／去勢手術への助成が見直された。改革は行政の果たす役割の再検証を行い、住民も適切な役割分担を担うという方針のもとで進められた。一つだけ復活させるならば、見直されたすべての項目を再点検してから判断すべきである。

賛成討論

(佐々木議員)

以前あった飼い猫の避妊／去勢手術助成金と異なり、どうぶつ基金を活用した上で、足りない部分の助成を望んでいる。どうぶつ基金は行政とタイアップすると、避妊／去勢用チケットを多く配布してくれる。河南町中の野良猫に対応するためには、行政の後押しが不可欠である。

請願・意見書など

平成29年第3回定例会表決結果

○ 全会一致の議案 ○

平成 29 年第 3 回定例会				
件 名	結 果	件 名	結 果	
河南町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	河南町立総合体育館（小体育室他）改修工事の工事請負契約について	原案可決	
河南町子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	町道の路線認定について	原案可決	
河南町ひとり親家庭の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	平成28年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報 告	
平成29年度河南町一般会計補正予算（第2号）	原案可決	河南町議会の会期等に関する条例の制定について	原案可決	
平成29年度河南町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	河南町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	
平成29年度河南町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	河南町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	
平成29年度河南町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	町長の専決処分事項の指定について	原案可決	
河南町農村活性化センター直売所棟増築工事の工事請負契約について	原案可決	「全国森林環境税」の創設に関する意見書	原案可決	

○ 賛否の別れた議案 ●

議案の採決は力武清議長を除く10人で行います。

件 名	各議員の審議結果 (○=賛成 ●=反対 △=除斥 —=議長)	審議結果	佐々木	浅岡	中川	大門	力武	廣谷	田中	小山	浅岡	野村	福田
			希 正	博	晶	清	武	慶	幸	村	太		
河南町老人医療費の助成に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
河南町身体障害者及び知的障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
野良猫を減らすための「地域猫活動」に対する支援の請願	不採択	○	○	○	●	※	○	●	●	○	●	●	○
地域猫活動への理解を求める請願	不採択	○	○	○	●	※	○	●	●	○	●	●	○
議会選出監査委員の選任について	同 意	△	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●

※ 可否同数のため議長裁決

平成29年河南町議会10月臨時会議審議結果

議案の採決は中川博議長を除く11人で行います。

件 名	審議結果	平成29年河南町議会10月臨時会議 (○=賛成 ●=反対 △=除斥 —=議長)											
		加藤	野村	大門	中川	浅岡	佐々木	力武	福田	浅岡	小山	田中	廣谷
大阪府自治紛争処理委員の意見書を尊重し、10月6日付で出した松井一郎大阪府知事の裁決書に反対する決議	原案可決	△	●	●	—	○	○	○	●	○	○	○	○
専決第4号 平成29年度河南町一般会計補正予算（第3号）	報 告												

大阪府自治紛争処理委員の意見書を尊重し、10月6日付で出した松井一郎大阪府知事の裁決書に反対する決議

このたび用された、河南町議会議員の失職に係る審査申立てに対する裁決は河南町議会にとっては到底納得のできる結果ではありませんでした。

松井一郎大阪府知事が任命した3人の弁護士らで構成されている大阪府自治紛争処理委員は、河南町議会の決定が全面的に認められ「申立ては、これを棄却するが相当」と結論付けました。しかしながら、回答期限を大幅に超えて松井一郎大阪府知事は、大阪府自治紛争処理委員とは真逆の答えを薄弱的根拠に基づいて出しました。

河南町議会としては、大阪府自治紛争処理委員の意見を尊重し、松井一郎大阪府知事の決定に断固として反対し抗議する。

以上、決議する。

平成29年10月12日
大阪府南河内郡河南町議会

加藤氏を復職させた松井知事の裁決書に反対する決議を可決

5月26日の臨時議会で居住実態を理由に加藤久宏氏は議員を失職した。この決定は2人の弁護士のアドバイスを受けて、河南町議会全会一致での決定だった。

その後、加藤議員は河南町議会の決定を不服として大阪府へ審査を申立て、大阪府は3人の弁護士らで編成する自治紛争処理委員による調査を行い、河南町議会の主張を全面的に認め、加藤議員の申立てを棄却すべきとの意見書をまとめた。しかし、申立てへの回答期限を大幅に超えて、松井知事は自治紛争処理委員とは真逆の答えを薄弱的根拠に基づいて出したため、加藤氏は復職することとなった。復職を認める過程や理由は納得できるものではなく、河南町議会としては知事の裁決書に反対する決議を可決した。

**決算特別委員会で
不認定**

決算特別委員会で「多面的機能支払交付金」についての質疑が集中した。

この制度の目的、趣旨が周知徹底されていないことが明らかになり、決算特別委員会では平成28年度一般会計が不認定となった。

そこで改めて、住民の方に、その内容をお知らせします。



多面的機能支払交付金とは

農地はもともと、水路、農道などは農家だけで管理されてきていた。

それが高齢化と後継者不足で、農家だけでは管理できなくなり、地域ぐるみで農地や農水路を保全するようになった。

農作物を植えたり収穫するイベントを開催する団体に対して、その活動の一部として、国が2分の1、府と町が4分の1を補助している。

河南町では、河南西部農空間保全協議会と寛弘寺地区畑田寛農会の2カ所で活動。

制度の始まりは平成26年度で、平成28年度は130万円の補助金。

補助金の算定金額

田んぼ10アール当たり3千円、畑10アール当たり2千円の定額。

活動内容

畦畔、のり面等の維持管理、草刈りや補修、水路農道の維持管理、泥上げ水路周辺の草刈りなど。活動報告書に基づく、府の検査、近畿農政局の検査を受けている。

交付金の内容

草刈り等の燃料代、機械のリース代。消耗品、コピー代、お茶代。

決算委員会では、協議会の総会の開催や活動実態への疑問が多く出され、改善を求められた。

**本会議で
認定**

後日の本会議では改めて質疑応答が行われ、認定された。

**決算委員会での
主な質疑**

問 農業従事者以外にも交付しているのか。

答 農業従事者だけではなく、一般の人の参加のある農業団体に支給する補助金である。

問 決算書はあるのか。

答 府の資金、国の資金が入っており、府は完了時に検査、国は近畿農政局が視察に来たりしている。

町には完了報告、完了実績報告が上がって、原

本と照合したり写真の提出をもらっている。

問 交付金のきっかけは、どういう経緯で始まったのか。協議会の方に説明されたのか。

答 国の制度として行われているもので、相談に來られこの事業が始まった。町から働きかけた事業ではない。

問 交付された地区以外への周知、働きかけはしたのか。

答 平石・加納地区に、団体を組織して要綱に基づく事業をやれば補助金がもらえるという説明はしている。組織として皆さんでやられるところについては問い合わせがあれば説明している。

問 石川や河内地区もあるのではないのか。

答 個人への補助金ではなく、団体をつくられているところ、ある程度は

場整備をやっているところは参加される意思が多い。

**本会議での
主な質疑**

問 決算特別委員会委員長が聞き取りをしたところ、7千円の領収書があった。端数がないことの疑問及び決算の後に加えたという事実があるが、事実関係を問う。

答 事実として職員の保有する軽ダンプを活用して水路の泥上げなどに使用したことを確認した。

問 決算特別委員会において決算認定がなされないということは記憶がない。町長はこの原因をどのように捉えているのか。

答 通常の支払い業務や支出業務だけでは不十分であることがよくわかった。反省をして、次にそのようなことがないように努めたい。

(仮称) かなんこども園を開設予定 中村小学校の跡地を利用

小学校問題及び公共施設再編整備計画調査特別委員会

平成29年9月25日

議員の質問 アレコレ

問 こども園は入所定員200名との想定だが、保育ニーズが高まる中で、待機児童は出ないのか

答 余裕を持った部屋要件を確保している

問 プールは現状のまま利用できないのか

答 施設は老朽化しており、又、乳幼児が利用できるような環境になっていないので、プレハブプールで対応する

問 遊戯室は体育館を利用できないか

答 体育館は空調設備がない。乳幼児にとって、空調設備は必須条件なので、遊戯室を新たに設置したい

問 中村小学校の南北の進入路の拡幅、町道整備の予定は

答 町道の拡幅は、現地調査を行っている。近隣の地権者はおおむね協力していただくと考えている

問 財政的な見通しは怎么样了のか

答 有利な起債を検討している

問 駐車場スペースは石川保育園より狭いが対応できるか

答 十分なスペースを確保できるよう実施設計で検討する

問 こども園は2階建てと平屋建てでは、子どもの導線と考えた場合、どちらがいいのか

答 敷地面積があるのであれば、平屋建てにする方が、平面移動が可能となる

問 非常時のことを考えれば、園庭のオープンスペースは広い方がいいのではないかと

答 将来的なことも見据え、再度検討する

(仮称)かなんこども園 《認定こども園》とは

幼稚園と保育所の機能や特徴を
あわせ持ち、地域の子育て支援
も行う施設です

0～2歳

利用時間

夕方までの保育のほか延長保育を
実施

利用できる保護者

共働き世帯、親族の介護などの
事情で家庭で保育できない保護者

3～5歳

利用時間

昼過ぎごろまでの教育時間に加え、
保育を必要とする場合は夕方まで
の保育を実施延長保育も実施

利用できる保護者

制限なし





大門 晶子議員

問 町政を担う覚悟があるか

答 町長 次の4年もやりたい

問 本町の空き家戸数の現状はどうなっているのか。

答 暫定的な空き家は200戸程度ある。

問 空き家の増加がもたらす影響を、どのように捉えておられるのか。

答 老朽化が進行するこ
とで、安全性の低下、公

衆衛生の悪化、景観の阻害など、多岐にわたる問題を生じ、地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことが考えられる。

空家等対策計画を策定し必要な対策を講じる。

移住促進について

問 本町には60周年記念

事業を成功に導いた若者の底力や町の魅力を発信し続けるバイタリテイ、新たに起業を起こしている若者の力がある。その魅力を発信し、本町出身の若年層のUターン促進につなげられないか。

答 住みよい河南町を積極的に、PRするシティセールスは不可欠である。

今後、様々なツールを使い、インスタグラムなどを活用した農業体験・農泊の楽しさや古民家カフェなどの魅力発信方法を検討する。

問 総合戦略では、就農支援を謳っているが、それだけでは不十分だ。定住促進には、本町の就業構造を把握し、有効な施策を立案したらいと考えるが、いかがか。

答 就業構造は把握している。青年就農給付金事業以外にも創業期における支援策として富田林商工会、大阪府商工会、(株)日本政策金融公庫阿倍野支店と連携を図り、創業支援事業計画の認定を受け、取り組みを進めている。

る。

問 空き家や空き店舗情報の一元化を図りデータベース化して情報提供し、地域資源を生かす環境を作れないか。

答 本年度は空き家など対策計画に着手。区域内にある空き家に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため策定するもので、空き家などの活用

促進も盛り込むこととなる。本町の実情に応じた活用方法を検討、計画に盛り込んでいく。

問 移住者の疎外感を回避するためには、新規参入される方のフォローアップも必要だと思いが。

答 区長会を通じ地区役員と連携を深め、誰もが住みたいまちの実現を目指す。



人が住まなくなった空き家



60周年記念事業



廣谷 武議員

問 広場に防犯カメラ設置

答 設置に向けて検討する

有事の際の対策について

問 緊迫する北朝鮮情勢

において、有事に対する国民向けマニュアルが公開された。河南町としてどのように対応するのか。

答 マニュアルでは、弾道ミサイル落下時の行動について、屋外にいる場合は近くの建物や地下に避難する。建物が無い場合は物陰に身を隠すか、

面に伏せて頭部を守る等となっている。

全国瞬時警報システム

J・アラートを活用し、自動的に町の防災行政無線からミサイル発射情報と避難の呼びかけが行われるとともに、エリアメールを通じ携帯電話等にも配信される。

また、河南町国民保護計画を策定している。町の今できることは全てやらないといけないと思っ

弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを受信するか、緊急連絡メール等により緊急情報をお知らせします。

メッセージが流れたら
落ちていて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合：近くの建物の中か地下に避難。
(注) できれば風上は建物や壁の裏、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。
- 建物が無い場合：物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合：窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

●屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
●屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

近くにミサイル落下!

国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために
事前に確認しておきましょう。
http://www.jukunohogo.go.jp/hiryou/hogo_manual.html

ミサイル落下時は、こちらから政府の対応状況をご覧いただけます

首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/

Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai

有事に対する国民向けマニュアル

空き家対策 民泊制度について

問 町内の空き家の件数は。

は。

答 昨年度空き家の実態調査を行った結果、空き家と思われる建物258戸の所有者にアンケートを行った。空き家と回答のあったもの39戸、無回答・配達不能などは158戸で暫定的に空き家は200戸程度と思われる。

問 空き家を利用して民泊制度を活用できないか。

答 河南町内で民泊が立地できるのは石川地区の第一種住居地区で地区計画のない地域のみである。

河南町では大部分が市街化調整区域

問 国交省は、空き家対策のために市街化調整区域における民家の用途変更を緩和している。観光振興のために農家民宿・宿泊施設や飲食等を提供

ている。



防犯カメラ

南町で利用できるかどうかを現在、空き家等対策計画の中で検討していく。

ちびっこ老人憩いの広場に防犯カメラ

問 安全安心の観点から

16地区のちびっこ老人憩いの広場に防犯カメラの設置をお願いしたい。

答 広場の環境、整備に向けて地域と協議し、設置に向けて検討していく。

する施設は用途変更をしやすくし、また既存集落におけるコミュニティや住民の生活水準を図るためにグループホーム等を建てられるように用途変更をしやすいようにしている。調整区域での開発許可制度も見直しされている。町全域を見据えて考えているのか。

答 国交省からの緩和措置は承知しているが、河



田中 慶一議員

河南町の学校教育 道の駅再整備計画

問 全国学力テスト結果。

答 中学校は全国平均より上。小学校は国語B、算数Aは全国平均より上。他は下。

問 今後の改善点と対策。

答 自学自習力向上のため、宿題の出し方を工夫し家庭と連携する。

問 部活動の影響は。

答 部活時間の多少に関

答 わらず平均正答率はほぼ同じ。

問 異文化体験研修を福

答 島県で実施の効果は。又、今後の海外研修は。

答 福島への参加は7名。国内外それぞれに良い所がある。来年は未定。

問 河南町学校教育の教

育 理念は何か。

答 一、地域の特色を踏まえた教育活動の展開。

二、学びと他人を思いやる規範意識、感性豊かな心。

三、健やかな体の育みを実現する。

四、組織力の向上、活性化に努め、信頼される学校づくりの推進。

問 職員、学校教職員に

答 どのような理念の徹底をしているのか。

答 学習指導要領の確実な実施、体力づくり、学校施設整備など。

問 年間実施計画は各先

答 生や職員にあるのか。実施の点検は誰がやるのか。

答 評価教育システムを実施し、自立自己実施の

支援、授業力などに目標を設定し自己申告書を学

校長に提出、学校長がチェックし、修正変更を指示。

問 学校長の評価は誰が

答 するのか。教育長がやる。

問 礼節教育、情操教育は

答 具体的にどうか。礼節教育は道徳の時間

に、情操教育は音楽、図工、美術を中心に指導している。

道の駅再整備計画

問 道の駅再整備実施設

答 計費に930万円計上、又設計の実施委託で1、700万円計上された。

設計委託は入札で業者選

定か。

答 一般競争入札で決定。1,700万円の委託費は駐車場設計、新棟の設計、トイレの改修設計費です。

問 直売所増築工事で合

答 計9,020万円の計上があり、入札では8,536万円で落札されたが、

これ以上の追加費は発生

しないのか。

答 これ以上の追加は今のところない。国の補助金4,000万円見込み、工事は3月完了見込み。

問 直売所工事で祝日の

答 売り場面積の3割程度狭くなる。年間4億円販売出来るのか。

答 農事組合と合意の上で進めている。



河南町立中学校



道の駅改修工事



小山 彬夫議員

問 町長の出張について問う

答 要望陳情の成果大きい

問 町長の公務出張は多岐に及び広範囲であるが、その内容は。また、職員への周知は。

答 現在の役職は町内外を含め町村会の充て職含めて21の役をしているが、他にも多くある。首長は自治体の仕事だけではなく、近隣市町村の枠組み、南河内、大阪府、近畿地方、国等の枠組みで政策を議論する会議に出席している。職員に対する周

知は、課長以上が出席する月2回の連絡会議で説明し、その内容を各課に持ち帰り説明している。

問 議会と行政は車の両輪といわれるが、議会側にも町長の公務の内容、出張等の報告が必要では。

答 町長のチェックは議員の仕事ではないと思う。必要であれば幾らでも説明する。周知の徹底より私が一番危惧することは危機管理である。出張中



南部高速道路構想

に突発的災害(地震・異常気象による大雨)等が発生した時、町民の生命・財産を預かる最終責任は私にある。出張時に町がどうなっているか、心配事は常にある。

問 国の各省庁、大阪府等に陳情、要望に自らが出向くメリット、成果は。

答 陳情の内容と目的は最近のホームページに出ている。今、最も力を注いでいるのが「大阪南部高速道路構想」である。私は高速道路実現に向けて道全協(道路整備促進期成同盟会全国協議会)の理事の職についた。高速道路がついた首長の話だが、実現には国会議員、府会議員、国交省、職員、議会、地元熱き思い、用地買収への協力が必要とのことである。高速道路の実現と各種補助金の確保のため、東京の国交省に何度も陳情に出向いている。また、大阪府の砂防協会の会長として土



農林水産大臣への要望の様子

問 砂災害の多い河南町のため、流木対策の治山ダムの建設等についてもお願いに行っている。

問 町長の交際費、旅費の決算額は。

答 平成28年の交際費の

執行額は9万9,628円です。職員も含めた一般管理費における旅費の執行額は67万2,982円で、この中に町長の旅費も含まれている。



福田 太郎議員

町の選挙投票所において

手法につき検討する

問 現在、5カ所の投票所に変更された結果、高齢者の方々から「選挙投票所には投票に行きにくい。」「投票に行きやすくしてほしい。」との声が多くある。投票所への利便策として、今後ワゴン車

答 による移動期日前投票所を各選挙の際に実行すべきと考えるがどうか。

今後の主要幹線道路・歩道整備について

問 東西の主要幹線道路として、町道石塚線から町道上河内馬谷線に接続する道路整備、また、町道寛弘寺竹ノ内線の南加納突き当りや府道土河内富田林線の菊水苑での突き当りを解消し延伸するための道路整備の実施について問う。

答 現在、道路整備計画の立案は困難と考える。

問 今後、南北主要幹線道路事業の一環ともいえる中村小学校北の交差点から町道寛弘寺竹ノ内線交差点までの町道中村金剛山線の道路を拡幅するための事業実施を願うが。

答 現段階では、拡幅は困難と考えている。

問 山城バイパスの延伸は大変重要な事業である。そこで、「(仮称)山城バイパス延伸道路整備事業実施」に向けて申入書を大阪府知事へ提出する考えはあるのか。

答 山城バイパス道路延伸については、本町から大阪府へ要望を行っている。

問 通学路である山城バイパスの歩道の拡幅について、一部歩道の幅員が非常に狭い場所がある。大宝地区の生徒たちが安全に中学校へ通学できるよう早急に歩道を拡幅するなど、通学の安全対策に取り組むべきと考え



山城バイパス延伸

が。

答 歩道幅員の坂道部分につきまして、水路にフタをする等の歩道拡幅を引き続き要望していく。

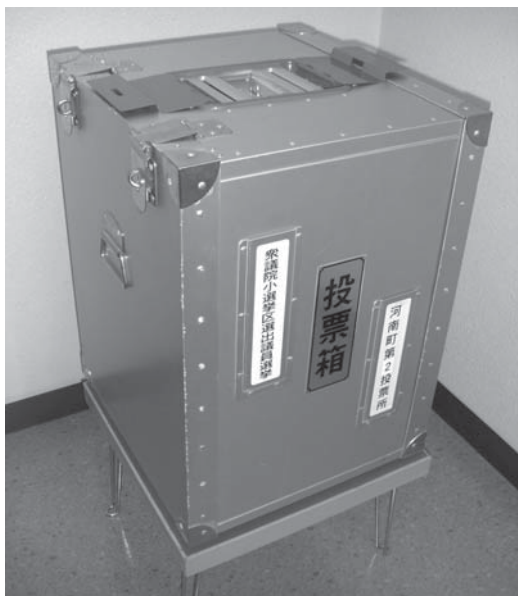
災害時対策への備え

問 如何なる災害時の際にも最大限活用できる無人機ドローンの購入について問う。

答 災害時の情報収集などでドローンの利用が進

んでいる。町で購入する場合、操作人員の技術習得、その人員の確保の問題、操作する職員の技術の認定など多くの課題があると考える。富田林消防本部が小型無人機ドローンの寄付を受け、運用に向けて8人の隊員が訓練している。本町の災害時にも活用できると聞いている。

※詳細な事は議事録に



投票箱



佐々木希絵議員

問 中学生の海外研修来年は

答 海外での研修を続けたい



シンガポール研修の様子

問 今年は福島での研修に変更した経緯は。

答 4月に北朝鮮を取り巻く国際情勢の緊張感が増してきたので、教育委員会会で議論が起こった。

問 教育委員会議事録では、教育委員会で相談・決定した様子はない。

答 個別に意見を聞いた。協議会で議員へ相談した時に、町長は「議員も勉強してくれ」と言った。議員はすでに勉強し

た上で意見を述べたが、さらにどのような勉強を求めているのか。

答 教育委員会では新聞やテレビで流されるマスキミの情報で判断した。

問 議員の意見はシンガポールでの研修を続けたいという時にはキャンセル料を払ってでも中学生の安全を確保すべきと一致していたのでは。

答 議員には相談でなく、報告しただけである。

問 来年以降はどのような基準で海外か福島かを判断するのか。

答 明確な基準はないが、海外での研修を続けたい。

障害者への理解を進める取り組みは

問 町内で障害者をと

りまく差別や偏見、当事者が感じている不便などの実態をどのように把握しているのか。

答 電話、FAX、メールなどで相談は随時受付けているが、相談がない。

問 相談しにくい雰囲気があるのでは。

答 他自治体の先進事例を研究する。

問 市長自らが手話検定2級を持つ明石市では、差別事例を募集し、どのように防ごうとできたのか協議し公表している。

答 障害者が気軽に相談できる雰囲気があるのでは。

問 明石では様々な差別解消施策が実施されている。本町に適した事例を

調査する。

問 相模原障害者施設殺傷事件を受けて、犯人をヒーロー視する声があり、町内の障害者や家族を不安にさせている。見解は。

答 人格と個性を尊重し合い、共生する社会の実現に向け、一層理解を深めることが大切である。

問 共生する社会をどのように実現するのか。

答 ふれあいスポーツ大会の参加者を増やすなど、障害者への理解と交流を深めるために各種団体と連携する。

新電力導入の成果は

問 新電力導入でどんな節税効果があったのか。

答 佐々木議員から新電力導入の提案があり、まずは役場庁舎で取入れ、今年度は対象を9施設に広げた。昨年度は847

万円の削減効果があった。

問 今後の展開は。

答 現在は高圧電力の施設のみだが、低圧電力の契約も検討する。



内閣府作成のパンフレット



浅岡 正広 議員

問

河川周辺・橋梁は大丈夫？

答

危険箇所への把握に努める

これまで自然災害に伴う防災対策の質問を繰り返して来ました。

今回、主に河川に架かる橋梁・河川周辺の危険性について伺う。

まず、河川に架かる橋梁であるが、先日福岡県



台風 21 号による町内水路の氾濫

東峰村の豪雨による被災地へボランティア活動並びに現場視察を行った際、現地では年数が経過している橋梁をはじめ、新しい橋までもが鉛細工のようにひん曲がり、かろうじて橋脚の根元部分のみ

が残されているといった光景を何力所も確認できた。山間部を有し、河川に隣接する住宅が存在する本町も決して例外ではない。今後、未曾有の集中豪雨など大きな自然災害も視野に入れスピード感を持ってそれらに耐え得る改修が必要と考える。行政のこれまでの対応と今後の対策を伺う。

町内の橋梁については安全確保のため年次的に補修工事を進めている。今後も府や近隣自治体と連携を図り危険箇所を優先に進めたいと考える。

次に、町内河川周辺の土砂崩れ及び倒木等の危険箇所の把握について伺う。

各地で起こった局地的

集中豪雨などを鑑み、本町管轄の河川に隣接した場所で土砂崩れや倒木など予測できる危険箇所について、平時より把握しておくことが緊急時の即時対応に繋がるものと考えられる。同時に橋梁へのダメージも最小限に抑止出来るものと考えている。

今後、それらの実態把握は必要不可欠であると思われるが、担当部署の見解を伺う。

河川周辺の土砂崩れ及び倒木等の危険箇所の実態把握については、たいへん重要なことだと考えられる。今後さらに、危険箇所の把握に努めていきたいと考える。

近隣国による人の命を奪うことを目的とした核実験やミサイル発射に伴う我が国への影響は、はかり知れない。必要以上に住民の不安を煽ることは無いと思われるが、一定の危機感を持って「自分の命は自分で守る」を基本にしつつ、今後、行政をはじめ各地区の自主防災組織の課題として

隣国のミサイルどうする？



進化を続ける隣国のミサイル

取り組む必要性が考えられる。

既に他の自治体ではミサイルに対して、本格的な住民避難訓練も実施されている。それらについて本町の考えを伺う。

これまで国の方針のもとに広報などを活用し住民への注意喚起を行っている。今後、防災訓練などの機会にJアラートのサイレン音の認識訓練などを取り入れて行きたいと考えている。



中川 博議員

問 河南町鳥獣被害防止計画は 答 有害鳥獣の駆除に努める

問 鳥獣保護管理に係る人材登録事業は、鳥獣保護管理に関する技術者を登録して、地方公共団体等の要請に応じて、登録者についての情報を紹介する仕組みである。町としての活用は。

答 鳥獣保護管理調査コーデイネーターが調査を実施、プランナーが計画を策定、捕獲コーデイネーターが捕獲や被害防除指導を行う。今後、活用について情報収集に努めていく。

問 河南町鳥獣被害防止計画は機能しているのか。

答 被害の増大は防げていない状況で、今後も有害鳥獣の駆除に努めていきたいと考えている。

無料公衆無線LAN環境の整備支援事業について

問 この事業は、防災の観点から、防災拠点(避難所・避難場所・官公施設)での公衆無線LAN環境の整備を行うとともに、災害発生時の情報伝達手段確保のため、被災場所として想定され災害対応が望まれる公的な拠点におけるWi-Fi環境の整備を行うことと

境の整備を行う地方公共団体等に対し、その費用の一部を補助するものであるが、対応は。

答 大災害時においては、固定電話や携帯電話が繋がりにくい状況が予想される。避難所などで無料公衆電話、Wi-Fiが利用出来れば、情報を得ることや、LINEを利用して通話も出来るので、設置に向け検討していく。

地方創生推進交付金事業について

問 河南町は、平成28年度第1回目の交付金対象事業に「トカイナカナン定住促進プロジェクト」として486万円獲得したがその後、他に申請はされているのか。

答 新たな事業としては申請していないが、継続分として3,222万3千円の交付金の採択となっている。

要望 財政を考え、他市町では2回、3回と申請



イノシシ

されているところもある。積極的な対応を願う。

大規模災害時の空き家等活用について

問 巨大地震などの大規模災害発生時には、住まいが圧倒的に不足し、被災者が広域的に避難することから、住まいの確保が最大の課題である。最大205万戸の応急仮設住

宅が必要である。そのことも踏まえ、河南町の空き家の活用は、大阪府空家等対策市町村連絡協議会から発信される取組みや、周辺市町村の取組みを参考に、本町の実情に応じた活用方法を検討の上、今年度の空家等対策計画に盛り込んでいく。

シリーズ



③③

—その道の達人から学ぶ—

目指せ！日本代表！

伊藤 星織(しおり) さん (神山)
紀子(のりこ) さん



今回は、都道府県対抗全日本中学生女子ソフトボール大会で大阪府代表選手として優勝に貢献した河南中学校3年生の伊藤星織さんと母の紀子さんをご紹介します。

紀子さんは、子ども会でソフトボールに出会い、中学・高校とソフトボール一筋。高校時代には国体選手として活躍されたそうです。そんな母を見て育った星織さんですが、入部の決め手は体験入部時に接してもらった先輩の印象がよかったからとのことでした。

星織さんは、試合中思うようなプレーができなくて苦しい時には深呼吸をして自分を冷静に見つめなおし、気持ちを立て直すとお話しておられました。技術面で納得できない時には母にアドバイスを求め、選手としての母も尊敬している様子が伺えました。

ソフトボールはチームプレーなので仲間と喜怒哀楽を共有できるところが、何

より気に入っているそうです。仲間とケンカすることもありました。それを乗り越えた時にチームの結束力が高まり、一体感がより強まったと語られました。

高校入学後もソフトボールを続けて、選手として、また人として上を目指し、目標は日本代表選手のようなプレーをすることだと笑顔で答えてくれました。

今、河南町立中学校ではソフトボール部に入部する生徒が少ないので、たくさん生徒に入部してほしいそうです。



長野県飯島町議会来庁

(10月3日)



広報委員会(橋場みどり委員長他5名)の皆様が、議会だより「かなん」の取り組みを視察に来られました。編集時の工夫を中心に活発な意見交換を行いました。

東京都荒川区複合施設

「ゆいの森あらかわ」視察(9月28日)

平成29年度町村議会広報研修会(9月29日)

参加議員 浅岡正広副議長 佐々木議員 小山議員
田中議員 廣谷議員

平成29年度正副議長等研修会(11月6日)

おおさか市町村職員研修センターで、森透匡講師による「東日本大震災の搜索体験で学んだこと」の研修に参加しました。

参加議員 中川議長 浅岡正広副議長 廣谷議員
佐々木議員

地方自治法施行70周年記念式典(11月20日)

場 所・東京国際フォーラム
八王子市役所行政視察(11月21日)

場 所・八王子市役所
第61回町村議会議長全国大会(11月22日)

参加議員 中川議長・浅岡正広副議長
場 所・NHKホール

編集後記

台風21号前後の記録的な豪雨によって被災された皆さまにお見舞い申し上げます。

議会として微力ではありますが災害ボランティア活動に従事するなど、被災された皆さまが1日も早く穏やかな日常に戻れるよう尽力しています。

定例会の日程

平成29年河南町議会12月定例会議を、次の日程で開催します。

12月5日 開 催

12月19日 一般質問

12月20日 散 会

みなさまぜひ傍聴にお越しください。

※日程は変更になる場合がありますので、確認は議会事務局まで。